

香川・うどん県の挑戦

讃岐うどんの本場で、「うどん県」として知られる香川県。全国的な注目度がアップしてホクホク顔と思いきや、意外な問題が発生していた。主役のうどんが、大量に廃棄されているというのだ。うどん県ならではの悩みを解消しようと、廃棄うどんを使った「発電」プロジェクトが始まった。
(荒井六貴)

やっぱりコシが命

「最初はほんまかいな 冷凍うどんの工場だと、思った。廃棄されるのは、トナリなど製造うどんは、大きな工場では、工程のラインが止まる一日四時間も出ていると聞くと、衛生上の観点から、これほど捨てられてライン上のうどんはすべて、地元でもあって廃棄される。切ったりまき知られていない」袋詰めにした際、産業機器メーカー「ちよだ製作所」(高松市)も余りが出る。別の理由で廃棄される「よだ製作所」(高松市)で技術開発営業を担当する尾崎哲夫さん(右)は、こう語った。

香川県のうどん店では、県産業技術センターからは、うどんをゆでてすぐから、「大量の廃棄うどん」に提供している。ゆででの処理で困っているところから十分も置くと、コシがなくなってしまうとの相談を受けたのは二〇〇九年のこと。同社では食料品廃棄物をエネルギーに変える装置の実用化に向けて、提供するまでに時間を置いてうどんは廃棄し

大量廃棄 困った



年間3000トン捨てる?

讃岐うどんの真骨頂は「うまい」「早い」「安らけてしまう。香川や大阪の客は待ってくれない」と三拍子だけに、廃棄の客は待ってられない」と解説する。「うどん」の5%前後が、食

という。

香川や大阪で十店舗を心か痛むが、コシのない展開する「さぬき麵業」うどんは出せない」と悩みの香川政明社長は「讃岐 ましい」。

うどんはゆでるのに、十 さぬき麵業では、うどん分ちよつとかかる。客がんとほかの生ごみを合わせて、ゆでていたら、帰 廿年間約百二十トが廃棄されてしまう。香川や大阪される。その処理には三

①「うどん県」のホームページで公開された、俳優尾崎哲夫さん(右)を用いた香川県をPRする動画の一場面

②香川県のソウルフード(郷土料理)として定着する讃岐うどん。ほぼ毎日食べる人も、高松市で

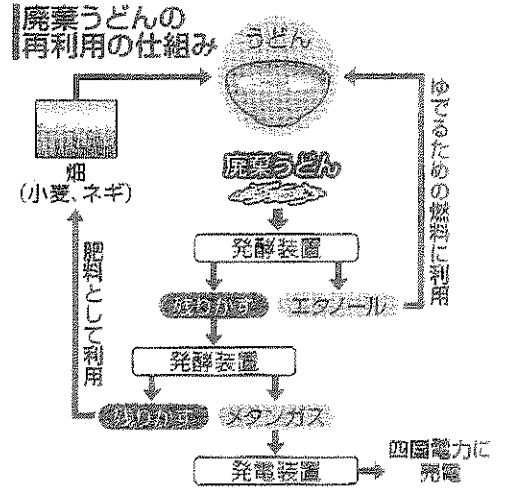
べられないまま、捨てられていくとみられる。香川県の讃岐うどん店は八百軒ほどで、うどんに使用される小麦量は年間約六万ト。うち5%が廃棄されると仮定すると、小変更算で三千トに上ることになる。

廃棄うどんは、これまで養豚場の餌として利用されたり、業者が依頼し産業廃棄物として処理していた。うどんの大規模工場では、処理費用は年間一千万円近くに上るケースもある。

ちよだ製作所に県産業技術センターから廃棄物利用の依頼があったのは、こうした「うどん県」ならではの悩みがあったからだった。

ちよだ製作所は社員二十人ほどの小さな会社だが、技術力には自信があった。廃棄うどんを原料に、アルコールの一種であるエタノールを取り出す装置を完成させた。うどんは他の食品と比べても、エタノールのもととなる糖度が高い。ゆでる前のうどん三百トで、エタノール百トほどを生産でき効率もよい。

こちら特報部



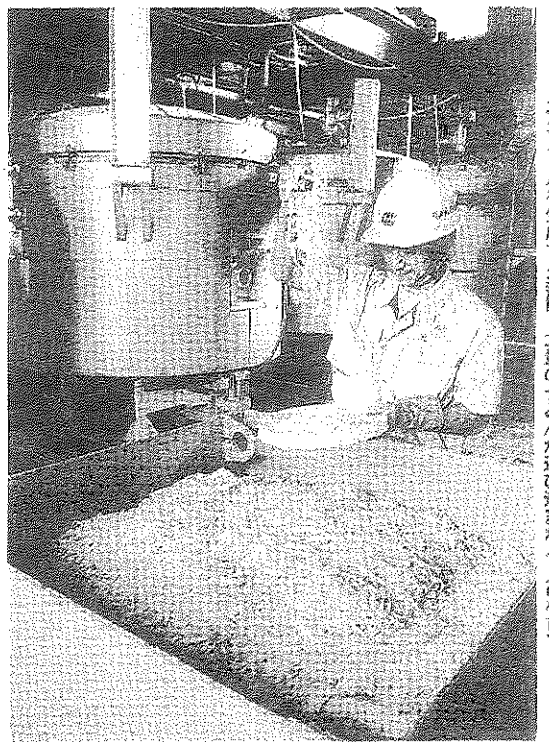
この取り組みを生かす時で九月にも、四国電力と昨年、製麺業や環境に売電し、年間六百万円保護団体、県、高松市な程度の収入を見込む。メと官民でつくる団体「ウタンガスの生成過程でもどんまると循環コンン残りかすは出るが、これーシラム」も設立され、ネギや小麦畑の肥料だ。このプロジェクトとして活用する計画だ。は、うどんから生成され、今月十一日に開かれたエタノールを、店のゆコンソーシアムの会議で釜の燃料として使う。計画は明らかになった。エタノールの製造過程で「採算がとれないと続が出た残りかすは、うどんない」「エタノールの使の薬味のネギ畑の肥料い道をはかにも増やせなとして使うという循環型いか」などの意見が出た。今年、このプロジェクト久米紳介事務局長は「小トは「うどん発電」にまさなうどん店にも、広げて発展した。ていきたい。廃棄うどんまず、残りかすを使っの輸送コストを下げようとして、メタンガスを発生さかなど、また課題はあるせる。それを発電装置にが、循環型社会のシンボル送り込み、燃焼させてタービンを通し発電する。す。」

この仕組みを約八千万かけて開発した。発電量は年間十五万発

再利用 循環型社会のシンボル

ゆで釜の燃料に、発電に

売電収入で採算事業へ



エタノールを生成する装置。大量のうどんが運び込まれる。高松市で

ちよだ製作所の池津英やめることになった」と打は「うどんだけではなく、てんぷらを載せたりけでは敵しいが、売電取 香川県は全国的にみて入があれば採算が見込めも糖尿病患者が多い。一にあっては、野菜や運る。太陽光発電や風力発 一年の国の調査で、糖尿動不足も重なり、複合的電に比べても安定してい 病で治療を受ける人の十な問題だ」と分析する。るのではないかと、う 万人あたりの割合は、香どん発電に期待を示す。 川原の男性が三百五十人

実は、池津社長には悩で全国フースト一位、女みがある。昨年十月か性が二百六十九人でワう、うどんを断っている スト一位になっている。というのだ。「酒を飲ん 一方で一日あたりの野菜りだした。県内の小学四だ後、うどんを締めるこの摂取量(〇六・一〇年 年生約九千人を対象に、いような生活をしてき の平均)は少なく、男性検査を実施し、糖尿病予て、血糖値が高くなっ がフースト二位、女性が 備軍を見つけた。全国でもた。うどんにはすごいエ フースト一位だ。香川大 初めての試みに取り組ネルギーがあると気づ 医学部付属病院糖尿病セ む。うどんにレタスやキ ユフリなど野菜を載せ るレシピもつあって、一部の店舗のメニューに載せているが、浸透度はま

糖尿病予防に 県が乗り出す

県は糖尿病予防にも乗 った。県内の小学四 年生約九千人を対象に、 「おいしい広島県」な どの自治体PRの先駆 けとなった。うどんの 隆盛の影で大腸癌生 じていた廃棄物の問題 を、発電と反響させる 試みは素晴らしい。こ うした心意も全国に 広げてほしい。(国)

だまたのよした。 うどん県は「一年に 「香川県はうどん県に改 名します」という架空の 動画を県のホームページで 流したことで、一気 に知名度がアップした。 サイトを製作した広告代 理店との契約問題で、五 月初めから四十四日間 にわたって、「作業中」 となってしまうトラブル も発生し、騒動になっ た。

讃岐うどんブームの火 付け役でもある四国学院 大の田屋和俊教授(情報 加工学)は「悪い面も語 られるのは、注目されて いる証拠。それでも、み んな、うどんを食べ続け る。知ることによって、 注意するし、改善の動き も出てくる。克服するこ とが重要」と前向きに捉 えている。